



2025-2026
国際ロータリーテーマ

よいことの
ために
手を取りあおう



フランチェスコ・アレツツォ



諫早西RC
ホームページ



Facebook



諫早西RC
掲示板



2025-2026年度 諫早西ロータリークラブテーマ

『ロータリアンとしての品格と誇りを持とう』

諫早西ロータリークラブ会長 吉田 健一郎

第1894例会 2026年 2 月 4 日例会記録 NO.26 天候 曇り

【本 日】会員数 41名 出席 34名 欠席 4名 出席扱い(急病) 1名 免除 2名 出席率 87.18%
 【1/21】会員数 41名 出席 31名 欠席 7名 (MU 3名) 免除 3名 出席率 81.58%

会長の時間

先週の30日、湯江小学校とダービースクールでの交流会へ行ってきました。湯江小学校からは校長・担任の先生の引率で生徒40名程。ダービースクールからは20名程の生徒に迎えて頂きました。ロータリーからは国際奉仕委員会の毎熊委員長・原田会員・永井会員・サルヴァドーライ会員・中島会員と私で参加しました。

最初に驚いたのは、湯江小学校の生徒たちは物怖じせずに英語で自己紹介をしていた事です。校長先生に確認したところ、今は、小学校で英会話の授業があり、中学校で文法を習うとの事でした。既に国際人としての教育を受けていることに驚きました。この交流で、言葉や文化の違いを超えて互いを知り、理解し、友情を育む貴重な体験が出来たと思います。詳しい報告は後日、委員会からあると思います。

話題を変えますが、5クラブの会長・幹事会がありました。みんなの挨拶は、「半年過ぎたね。残り数か月。」と安堵の言葉でした。当クラブとしては、これからの行事が控えています。私は気を引き締めて残りを遂行したいと思います。皆さんのご協力をお願い致します。

報告として、さくら植樹記念碑移設は無事終了したそうです。施工費150万円は、大口基金を含め皆さんの基金で目標額を集めることができたそうです。それと、《第7・第8グループI・M》は3月7日(土) ホテルグランドパレス諫早で諫早R.Cにより執り行われる事が決定しました。全員で出席できるよう、予定を入れておいてください。

本日は「立春」にあたる日です。暦の上では、今日から春ということになっております。…が、外に出ると「え？本当に春？」と、思わず暦に聞き返したくなる寒さです。さらに、2月といえば「短い月」です。28日しかありません。2月は逃げると云いますが鳥兎匆匆(うとそうそう)を最も感じる月です。これは時間が早いのか、私の動きが遅いのか。…おそらく両方だと思います。自然は次の季節へ向かって、静かに動き出しています。目には見えませんが、植物は土の中で芽を出す準備を始めていると思います。私事ですが、今年こそ勇往邁進で確定申告を早めに手を付けようと思います。光陰矢のごとしです。



吉田 健一郎 会長

会 長／吉田 健一郎 幹 事／友永 俊介 創立日／昭和60年2月20日 認証日／昭和60年3月5日
 例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907
 事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323
 会報委員／辻 保行・久保 泰正・古賀 秀次・大町 誠
 HP/<https://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

幹 事 報 告

例会変更および休会なし

【お知らせ】

※国際ロータリー日本事務局より

- ① 2月ロータリーレート 1ドル＝154円
- ② 「財団室NEWS 2026年2月号」
- ③ 「台北国際大会通信 Vol.6」

※ガバナーエレクト事務所より（久保地区委員長宛）

2026-27年度「地区チーム・ラーニングセミナー」の開催について（ご案内）

日 時：令和8年3月8日（日）

14:30 受付 15:00 開会

※セミナー終了後に懇親会予定

場 所：長崎サンプリエール（長崎市元船町2番4号）
TEL 095-822-3390）

出席者：次年度地区委員長

締 切：2月18日（水）

※ガバナー事務所より

「ガバナーノミニージェグネート選出について」

公表：令和8年7月1日以降

※諫早北ロータリークラブより

「ロータリークラブ創立百周年さくら植樹記念碑移設決算書」

収入（寄付・利息）：1,530,066円 支出：1,432,466円
余剰金：97,600円
諫早西RC 7,018円（@319×22口）

※諫早ロータリークラブより

「2025-2026年度 第2回 第8グループ会長幹事会 議事録」

※雲仙 諫早南ロータリークラブより

「鎮西学院大学ジャズアンサンブルローターアクトクラブ例会のお知らせ」

日時：令和8年2月17日（火）

12:00～受付

12:30～例会開会 13:30閉会

場所：鎮西学院大学ウィルキンス館4階 西山ホール

※大村北ロータリークラブより

「大村北ロータリークラブ創立50周年
記念式典及び記念講演・祝賀会のご案内」

日 時：令和8年4月11日（土）

受 付 12:30～

式 典 13:00～14:20

記念講演 14:30～16:20

講師：鈴木 宏様

（RI第2550地区パストガバナー）

テーマ「初期ロータリーを顧みて」

祝 賀 会 16:40～18:10

場 所：長崎インターナショナルホテル 2Fラクア
大村市水主町1-973-1 TEL0957-52-1111

登録料：9,000円

締 切：2月28日（土）

【2月誕生日祝】



吉田健一郎 君 昭和27年2月24日

【2月結婚記念日祝】



辻 保行 君 昭和60年2月3日

委員会報告



青少年奉仕委員会
山本 健志 奉仕プロジェクト委員長



職業奉仕委員会
浦江 芳征 委員長

😊 スマイルボックス 😊

吉田健一郎君：今月で74歳になります。数字だけは立派になります。数字だけの立派になりますが体のあちこちは、年季が入ってきました。ロータリーへの気持ちは新品同様です。

サルヴァドールライ美奈子君

：12月の母の葬儀の際は心遣いありがとうございました。また、1月の誕生日プレゼントもいただき、寒い毎日、心ポカポカです。半年の休会を終え、今月から復帰いたします。皆様どうぞ宜しくお願いします。

江嶋 利満君：結婚記念日祝ありがとうございます。先月の1月28日でした。

御厨 善光君：今朝、玄関を出てふと見上げると、梅の花が咲き始めていました。サルヴァドールライさんも戻って来ました。今月は立春、春を待つばかりです!!

辻 保行君：結婚記念日祝ありがとうございます。

原田 典範君：両替します。

小島 礼文君：早退します。

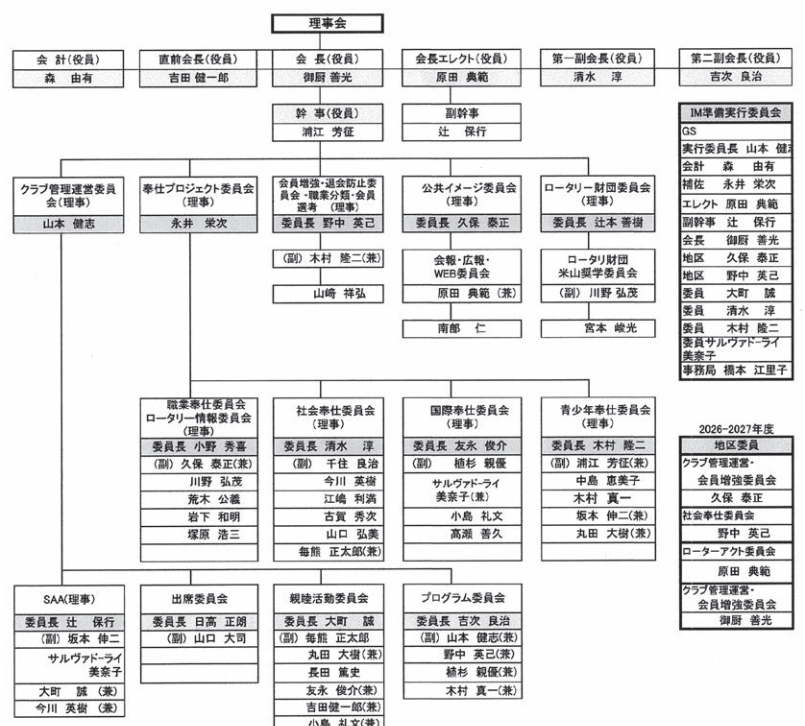
本日の合計 (2/4)	累計額
¥22,000	¥849,000



御厨 善光 会長エレクト

2026-2027年度 諫早西ロータリークラブの組織編成です。次年度理事役員および会員の皆様、宜しくお願いいたします。

諫早西ロータリークラブ 2026-2027年度 組織編成表



行動が私たちを定義する

2025-2026 年度 国際ロータリー (RI) 会長 フランチェスコ・アレツツォ

1月に開催された国際協議会で、オンラインカ“インカ”ハキーム・ババロラRI会長エレクトは、ロータリー会員に向けて次のようなメッセージを発信しました。「Create Lasting Impact (持続可能なインパクトを生み出そう)」。

2月は平和構築と紛争予防月間です。今こそインカ会長エレクトの呼びかけを真の変化へとつなげる絶好の機会です。

平和とは、単に戦争がない状態を指すものではありません。紛争がなくても、飢餓や不安定な生活に苦しみ、家族を支えることができない日々は、真の平和とは言えません。平和には、自由と機会、そして人間の尊厳を尊重する敬意が欠かせません。しかし、変化への恐れ、文化的損失への不安、自分たちが理解できない人々に対する恐怖が、その道を阻むことがあります。

恐れは、無視や攻撃によって克服できるものではありません。平和への第一歩は「知ること」です。ロータリーはこの考え方を大切にしています。ロータリー平和センターや平和フェロー、そしてさまざまな平和教育の取り組みは、知識が信頼を育み、地域社会が紛争解決の道を見いだす力となることを示しています。

例えば数十年に及ぶ紛争が深い傷痕を残してきたコロンビアでは、2025年大規模プログラム補助金受領プログラム「コロンビアにおける平和と繁栄への道」が、世界食糧計画 (WFP) と連携し、機会の拡大、紛争解決、人々と社会サービスをつなぐ活動に取り組んでいます。暴力、貧困、食糧不安の連鎖を断ち切り、平和を根付かせることを目指しています。

インド・マハラシュトラ州では、「世界を変える行動人」に選ばれたスワティ・ヘルカルさんが、土壌の劣化、農家の負債増加、化学肥料による健康被害といった課題に向き合いました。彼女はロータリーのパートナーと共に再生農業プログラムを立ち上げ、土地を再生し、コストを削減し、暮らしの安定を実現。現在では1,100人以上の農家が参加し、50以上の村がこのモデルを採用しています。

さらにアフリカ中部のチャドでは、ロータリー平和フェローのドミノ・フランクさんが、反乱に参加した1,500人以上の女性が社会復帰プログラムから排除されている現状を知りました。彼の働きかけにより、チャド初のグローバル補助金の実現し、「平和の回廊」プロジェクトが始動しました。目標の3倍に当たる100人以上の女性が識字教育と職業訓練を修了し、協同組合を結成、家族を支えられるようになりました。

コロンビア、インド、チャドの事例が示す教訓は明確です。平和は夢ではなく、継続的な行動の結果であるということです。そしてそれが真の「持続可能なインパクト」を生み出すのです。これらの成功を他の地域で再現するために、ロータリークラブは三つの行動を取りましょう。平和フェローや組織内の平和の専門家から学ぶ、地域ニーズ調査に平和構築の視点を取り入れる、そして形式よりもインパクトを優先する、です。

恐れがまん延する世界において、ロータリーは中途半端な対応やうわべだけの言葉で満足してはいけません。私たちが真に「行動人」であるなら、その名の通り、行動こそが私たちを定義するべきです。共に、世界で、地域社会で、そして私たち自身の中に、「持続可能なインパクト」を生み出していきましょう。

